

KIRIN 平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月5日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 占二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 鈴木 健介 TEL 03-5540-3455

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 平成23年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	1,001,445	△0.9	72,812	21.7	72,559	28.9	17,940	150.7
22年12月期第2四半期	1,010,177	△4.7	59,826	48.9	56,298	△0.2	7,156	△52.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	18.65	18.55
22年12月期第2四半期	7.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	2,581,907	1,204,633	38.7	1,038.46
22年12月期	2,649,197	1,159,036	36.3	1,000.51

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 998,811百万円 22年12月期 962,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	12.50	—	12.50	25.00
23年12月期	—	13.50	—	—	—
23年12月期 (予想)	—	—	—	13.50	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,110,000	△3.1	144,000	△5.0	138,000	△2.1	52,000	356.4	54.06

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

平成23年8月2日に適時開示致しました「スキんカリオール・グループの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」について、スキんカリオール・グループの連結子会社化による影響は加味しておりません。詳細につきましては、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期2Q	965,000,000株	22年12月期	965,000,000株
23年12月期2Q	3,179,011株	22年12月期	3,010,208株
23年12月期2Q	961,827,456株	22年12月期2Q	953,234,445株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な原因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成23年1月1日～平成23年6月30日)のわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力が続き、依然として厳しい状態にあるものの、供給面での制約は徐々に緩和してきており、個人消費は下げ止まりつつあります。

このような状況の中、キリングroupでは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015」(略称：KV2015)実現に向けた第2ステージである「2010-2012年キリングroup 中期経営計画」の2年目として、“質的拡大”に向けた取組みを強化しました。

国内においては、キリンビール㈱、キリンビバレッジ㈱を中心に、引き続き総合飲料グループ戦略を推進するとともに、機能別に組織されたクロス・カンパニー・チーム主導の下、グループ横断で一層の収益性と効率性向上を図りました。

また、メルシャン㈱は、経営資源をワイン・酒類事業に集中すべく、4月に医薬・化学品事業について、三井物産株式会社と譲渡契約を締結しました。

海外では、1月に華潤創業有限公司と中国における清涼飲料事業に関する合弁会社の設立に合意し、3月にはベトナム飲料製造・販売会社であるインターフード社の株式取得を完了するなど、今後急速な成長が見込まれる中国・東南アジアの清涼飲料市場での事業強化を進めています。

なお、東日本大震災の発生により、キリンビール㈱をはじめとした当社グループ会社において、製造・物流・販売等において影響を受けましたが、順次復旧しております。

これらの結果、当第2四半期の売上高は減少しましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は増加しました。震災による製品や設備等への被害に関しては、169億円を特別損失の東日本大震災関連損失として計上しております。

連結売上高	1兆14億円(前年同期比)	0.9%減
連結営業利益	728億円(前年同期比)	21.7%増
連結経常利益	725億円(前年同期比)	28.9%増
連結第2四半期純利益	179億円(前年同期比)	150.7%増

さらに、当社グループは、8月にブラジルでビール事業及び清涼飲料事業を展開するスキンカリオール・グループの株式の50.45%を取得しました。これまで当社が構築してきたアジア・オセアニアでの事業基盤に加え、新たに、成長著しいブラジルでの足掛かりを獲得することにより、国際総合飲料グループ戦略をさらに進展させます。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、ライオンネイサン ナショナルフーズ社は、5月にライオン社に社名を変更しております。

<国内酒類事業>

国内酒類事業では、キリンビール㈱において、東日本大震災の発生後、一部工場の製造停止や缶資材の不足、燃料調達など物流上の制約や消費マインドの低下から、一時的に販売数量が減少しましたが、その後、製造・供給体制は順次復旧し、消費マインドにも徐々に改善の動きが見られました。

そのような中、キリンビール㈱は、さらなる定番商品強化に努め、「キリン 一番搾り生ビール」「淡麗グリーンラベル」「キリン のどごし<生>」などが堅調に推移しました。また、拡大が続く新ジャンルカテゴリーにおいては、特に健康意識の高いお客様への新たな提案として「キリン 濃い味<糖質0(ゼロ)>」を2月に発売し(震災の影響により一時的に販売を休止し、6月に再発売)、さらなる需要拡大を図りました。

※糖質ゼロは100mlあたり糖質0.5g未満のものに表示可能(栄養表示基準による)

RTD※では、「キリンチューハイ 氷結」のスタンダードシリーズをリニューアルしたほか、震災の影響で発売を延期していた「キリンチューハイ 氷結やさしい果実の3%」を発売するなど、RTD市場での一層のプレゼンス向上を図りました。

※RTD: Ready to drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料

これらの結果、震災発生後、一時的に減少した販売数量は徐々に回復しつつあります。

また、被災した仙台・取手両工場は、震災発生後、製造を停止していましたが、取手工場は復旧作業も順調に進み、4月上旬に操業を再開しています。最も被害の大きかった仙台工場は、これまで操業を停止し、清掃作業や設備の点検作業を行ってきましたが、7月に工場用電力供給が再開されたことに伴い復旧の目処が立ち、9月下旬からビールの仕込み工程を再稼働し、11月上旬には再開後の初出荷を行う予定です。

メルシャン㈱では、「メルシャン おいしい酸化防止剤無添加ワイン」「メルシャン ビストロ」などの国産デイリーワインが好調だったほか、チリワイン「フロンテラ」などの輸入デイリーワインも堅調に推移しました。さらに、

ライオン社傘下のワイナリーと共同開発し、3月に発売した「セント・ハレットタティアラ」は6月末までに約3万5千ケースの販売を達成し、年間計画も10万ケースに上方修正しました。

なお、東日本大震災により、藤沢工場の自動倉庫の一部被害や包装資材供給不足による商品出荷調整等がありました。順次解消しています。

これらの結果、売上高は減少しましたが、営業利益は増加しました。

国内酒類事業連結売上高	3,923億円 (前年同期比	6.4%減)
国内酒類事業連結営業利益	288億円 (前年同期比	29.0%増)

〈国内飲料事業〉

国内飲料事業では、キリンビバレッジ㈱が商品力・営業力の強化を図るとともに、継続的に収益構造改革に取り組み、成長の実現に向け競争力の再構築を進めています。

基盤ブランドである「キリン 午後の紅茶」では、「キリン 午後の紅茶 ストレートティー」をはじめとする定番3アイテムのほか、「キリン 午後の紅茶 エスプレッソティー・ブラック 無糖」「キリン 午後の紅茶 エスプレッソティー・アイスラテ」を新たにラインアップに加えたエスプレッソティーシリーズが好調に推移し、紅茶市場を牽引しました。

また、「キリン ファイア」では、「挽きたて」シリーズが好調だったほか、低温無菌充填技術により実現した上質な香り・クリアな味わいとコーヒーを携帯するという新スタイルを提案するペットボトルコーヒー「キリン ファイアネオ」シリーズが好評を得るなど、コーヒー市場の活性化を図りました。

なお、東日本大震災により、清涼飲料業界ではペットボトル飲料に使用する樹脂キャップの供給が不足したため、業界全体でキャップの白無地化を進めており、キリンビバレッジ㈱も順次対応しています。さらに、震災以降、高い水準の出荷が続く水カテゴリーについて最大限の製造・出荷対応を行なったほか、自動販売機の節電にも努めました。

これらの結果、売上高は減少しましたが、営業利益は増加しました。

国内飲料事業連結売上高	1,457億円 (前年同期比	12.5%減)
国内飲料事業連結営業損失	10億円 (前年同期比	—)

キリンビバレッジ㈱では、ベトナムの清涼飲料事業について、エースコック株式会社およびエースコックベトナム株式会社との合弁会社であるキリン・エースコック (ベトナム) 飲料有限責任会社の合弁契約を解消し、その全持分の譲渡を受け完全子会社化し、ベトナムキリンビバレッジ有限責任会社と社名変更いたしました。ベトナム市場は、今後も著しい成長が見込まれており、今回完全子会社化への事業スキーム変更により、グループの連携を一層強化し、戦略構築とその実行スピードをこれまで以上に高めてまいります。

〈海外酒類・飲料事業〉

豪州では、ライオン社が、酒類、飲料事業ともに、引き続きブランド力強化を重視した事業経営を推進し、一層の収益性と効率性の向上に努めました。

一方、最需要期である夏季の気温が例年になく低かったことや、クイーンズランド州での洪水、ニュージーランドでの地震などの自然災害が発生したことにより、厳しい市場環境が続きました。

さらに飲料事業では、消費者の低価格志向及び一部プライベートブランドの受託契約変更等の影響がありました。

また、3月に株式取得を完了したベトナム飲料製造・販売会社であるインターフード社については、当第2四半期より業績を取込んでいます。

これらの結果、売上高は増加しましたが、営業利益は減少しました。

海外酒類・飲料事業連結売上高	2,325億円 (前年同期比	27.6%増)
海外酒類・飲料事業連結営業利益	114億円 (前年同期比	22.1%減)

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱において、腎性貧血治療剤「ネスプ」、透析における合併症のひとつである二次性副甲状腺機能亢進症の治療剤「レグパラ」が伸張したほか、花粉飛散量が多かった影響等により、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」の売上高も好調に推移しました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料が高円による影響を受けていますが、海外向けの輸液用アミノ酸や医薬用原料が好調に販売数量を伸ばしました。

なお、協和発酵キリン㈱は、同社が保有する協和発酵ケミカル㈱の全株式を3月31日に譲渡しました。これにより、化学品事業の業績は第1四半期連結会計期間 (平成23年1月1日から3月31日まで) のみが含まれております。

また、東日本大震災による影響は、一部の医薬品製造委託先の工場が被災したものの大きな被害には至りませんでした。

これらの結果、売上高は減少しましたが、営業利益は増加しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	1,811億円(前年同期比)	9.9%減
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	313億円(前年同期比)	33.0%増

新薬の開発においては、独自の抗体技術を用いたヒト化モノクローナル抗体KW-0761の承認申請を行うなど、順調に進みました。

また、協和発酵キリン㈱は、4月に米国及び欧州においてがん関連領域をはじめとする医療用医薬品の開発・販売体制を有する英国スペシャリティファーマであるProStrakan Group plcの全株式を取得しました。

<その他事業>

キリン協和フーズ㈱では、引き続き価値提案型の開発・営業体制を強化するとともに、お客様のニーズに応える製品・サービスの提供に努めました。

これらの結果、売上高は増加しましたが、営業利益は減少しました。

その他事業連結売上高	496億円(前年同期比)	21.0%増
その他事業連結営業利益	31億円(前年同期比)	20.4%減

なお、キリングroupは、東日本大震災の被災地への支援として、義援金4億円(協和発酵キリン㈱による1億円含む)、飲料水約115万本(500ml換算)などの支援物資の提供を行ってまいりましたが、被災地の復興について、グループをあげて継続的に取り組むべく、今後3年間で約60億円を拠出することを決定しました。

また、2011年度の支援内容は以下のとおり決定しました。今回の復興支援活動を「復興応援 キリン絆プロジェクト」とし、グループ統一のスローガンを掲げ、グループ各社が一体となって支援活動を進めていきます。

「復興応援 キリン絆プロジェクト」では、被災地の皆さまと一緒に復興に取り組みたい、という想いから、「絆を育む」をテーマに、被災地の皆さまの“地域社会の絆”や“家族の絆”を一層深めていただける様、今後は「地域食文化・食産業の復興支援」「子どもの笑顔づくり支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹で活動を実施していきます。

3つの幹の復興支援活動について(2011年度)

① 地域食文化・食産業の復興支援(約9億円)

岩手県、宮城県、福島県では、東北の食文化や地域経済を支える農業・水産業がとりわけ大きな被害を受けています。キリングroupでは、食に携わる企業としてその復興に貢献したい、との想いから、農業については「農業の復興・再生に向けた基盤整備」、水産業については「養殖業の復興・再生」などをテーマに、今後3年間にわたって継続的な支援活動を行って行く予定です。

② 子どもの笑顔づくり支援(約3億円)

被災地の将来の発展を支える子どもたちの学びの機会を大切にしたい、という願いから、岩手県、宮城県、福島県の地域産業復興の一翼を担う、農業高校および農業科の被災した高校生に対し、奨学金を給付します。年間計約600人に対して一人あたり最大36万円の返還義務の無い奨学金を給付し、今後3年間継続して行います。

③ 心と体の元気サポート(約6億円)

岩手県、宮城県、福島県の小学校を対象に、巡回によるサッカー教室を開催し、被災地の子どもたちにサッカーを通じてスポーツの楽しさ、心の豊かさを伝える活動を提供します。講師には元サッカー日本代表選手などを迎え、プロによる楽しく思い出に残るサッカー教室を展開するほか、使用したボールやゴールなどの備品は実施した小学校へ寄贈することで、いつでもサッカーを楽しめる機会や場づくりに貢献します。なお、今後3年間本活動を継続して行います。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、無形固定資産等が増加したものの、受取手形及び売掛金、有形固定資産、投資有価証券等の減少により、前連結会計年度末に比べ672億円減少して2兆5,819億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、有利子負債、未払酒税の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,128億円減少して1兆3,772億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ455億円増加して1兆2,046億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、各事業の進捗と為替レートの見直しを加味した結果、下記のとおり修正しております。なお、平成23年8月2日に適時開示致しました「スキンカリオール・グループの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」について、スキンカリオール・グループの連結子会社化による影響は加味しておりません。当該影響につきましては現在精査中ですが、取込期間が限定的であるため、本資料に記載されている業績予想に重要な影響を及ぼすものではないと考えております。業績予想の修正等、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

【平成23年12月期の連結業績予想】

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,140,000	152,000	148,000	58,000	60円29銭
今回修正予想(B)	2,110,000	144,000	138,000	52,000	54円06銭
増減額(B-A)	△30,000	△8,000	△10,000	△6,000	—
増減率(%)	△1.4	△5.3	△6.8	△10.3	—
前期実績	2,177,802	151,612	140,969	11,394	11円95銭

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して、一般債権の貸倒見積高を算定しております。

2) 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

3) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

②特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益は72百万円、経常利益は62百万円、税金等調整前四半期純利益は1,543百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,854百万円であります。

3. 連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,107	51,463
受取手形及び売掛金	322,579	415,268
商品及び製品	121,118	129,704
仕掛品	34,395	19,917
原材料及び貯蔵品	39,493	38,191
その他	73,430	74,483
貸倒引当金	△2,237	△1,939
流動資産合計	651,887	727,088
固定資産		
有形固定資産	705,163	739,235
無形固定資産		
のれん	599,830	562,492
その他	118,425	95,864
無形固定資産合計	718,255	658,357
投資その他の資産		
投資有価証券	406,114	428,383
その他	107,237	103,562
貸倒引当金	△6,749	△7,430
投資その他の資産合計	506,602	524,515
固定資産合計	1,930,020	1,922,108
資産合計	2,581,907	2,649,197

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,213	169,036
短期借入金	119,925	181,786
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,999
1年内償還予定の社債	3,330	3,361
未払法人税等	31,898	26,544
引当金	8,516	7,491
その他	242,451	280,475
流動負債合計	552,334	679,695
固定負債		
社債	316,558	320,070
長期借入金	286,325	262,720
退職給付引当金	64,082	66,882
その他の引当金	6,072	6,212
その他	151,900	154,578
固定負債合計	824,939	810,464
負債合計	1,377,274	1,490,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,419	81,412
利益剰余金	827,435	821,519
自己株式	△3,182	△2,985
株主資本合計	1,007,717	1,001,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,706	7,252
繰延ヘッジ損益	322	1,285
土地再評価差額金	△4,713	△4,713
為替換算調整勘定	△10,221	△43,341
評価・換算差額等合計	△8,906	△39,516
新株予約権	206	207
少数株主持分	205,615	196,352
純資産合計	1,204,633	1,159,036
負債純資産合計	2,581,907	2,649,197

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,010,177	1,001,445
売上原価	608,019	592,047
売上総利益	402,157	409,398
販売費及び一般管理費	342,331	336,586
営業利益	59,826	72,812
営業外収益		
受取利息	750	1,511
受取配当金	1,894	3,368
持分法による投資利益	7,577	5,701
その他	3,303	1,878
営業外収益合計	13,526	12,460
営業外費用		
支払利息	10,828	10,775
為替差損	4,218	—
その他	2,006	1,937
営業外費用合計	17,054	12,713
経常利益	56,298	72,559
特別利益		
固定資産売却益	2,601	13,646
投資有価証券売却益	6,800	1,619
関係会社株式売却益	122	6,604
その他	2,013	3,940
特別利益合計	11,537	25,811
特別損失		
固定資産除却損	2,799	929
固定資産売却損	286	583
減損損失	—	1,693
投資有価証券評価損	2,722	3,515
投資有価証券売却損	186	—
関係会社株式売却損	3,824	1,957
事業整理損失引当金繰入額	2,719	2,000
在外会社清算損失引当金繰入額	7,534	—
退職給付制度改定損	6,987	—
過年度損益修正損	5,300	—
東日本大震災関連損失	—	16,923
その他	8,693	10,593
特別損失合計	41,055	38,197
税金等調整前四半期純利益	26,780	60,173
法人税等	15,162	32,775
過年度法人税等調整額	1,169	—
少数株主損益調整前四半期純利益	—	27,397
少数株主利益	3,291	9,456
四半期純利益	7,156	17,940

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,780	60,173
減価償却費	49,925	49,680
減損損失	—	1,693
のれん償却額	16,655	18,256
受取利息及び受取配当金	△2,644	△4,880
持分法による投資損益(△は益)	△7,577	△5,701
支払利息	10,828	10,775
為替差損益(△は益)	2,575	△138
固定資産売却益	—	△13,646
固定資産除売却損	3,085	1,186
投資有価証券売却益	△6,800	△1,619
投資有価証券評価損	—	3,515
関係会社株式売却益	—	△6,604
関係会社株式売却損	3,824	1,957
売上債権の増減額(△は増加)	64,890	68,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,418	△9,632
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,831	△15,521
未払酒税の増減額(△は減少)	△38,957	△33,149
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,790	△2,142
預り金の増減額(△は減少)	△13,915	△5,350
その他	2,782	4,277
小計	93,413	121,754
利息及び配当金の受取額	7,626	10,642
利息の支払額	△9,253	△11,100
法人税等の支払額	△6,947	△28,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,838	92,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△56,416	△42,126
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,105	17,480
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△383	△4,341
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	14,497	11,303
子会社株式の取得による支出	△6,000	△886
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△41,157
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	703	55,127
その他	1,624	△7,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,869	△11,735

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△97,211	△41,820
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	84,997	△999
長期借入れによる収入	14,878	69,558
長期借入金の返済による支出	△15,197	△77,040
社債の償還による支出	△4,914	△4,955
少数株主への子会社減資による支出	△2,058	—
自己株式の取得による支出	△236	△331
自己株式の売却による収入	42	122
配当金の支払額	△10,963	△12,025
少数株主への配当金の支払額	△2,260	△3,111
その他	410	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,513	△71,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,814	1,026
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,640	10,714
現金及び現金同等物の期首残高	118,797	45,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	120,438	55,992

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	酒類 (百万円)	飲料・食品 (百万円)	医薬 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	514,216	275,007	103,383	117,570	1,010,177	—	1,010,177
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,498	2,824	95	15,805	31,223	(31,223)	—
計	526,715	277,831	103,478	133,375	1,041,401	(31,223)	1,010,177
営業利益	45,463	2,505	19,737	2,732	70,439	(10,613)	59,826

(注) 1 事業区分は、製品の種類、性質を考慮した経営管理上の区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類	ビール、発泡酒、新ジャンル、洋酒、エンジニアリング、物流他
飲料・食品	清涼飲料、食品、健康・機能性食品他
医薬	医薬品
その他	バイオケミカル、化学品他

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	801,438	176,578	32,161	1,010,177	—	1,010,177
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,037	2,135	4,345	22,518	(22,518)	—
計	817,475	178,713	36,507	1,032,696	(22,518)	1,010,177
営業利益	53,404	14,428	3,035	70,867	(11,041)	59,826

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度を考慮して区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

地域区分	主要な国又は地域
アジア・オセアニア	東アジア、東南アジア、オセアニア諸国
その他	アメリカ合衆国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	アジア・オセアニア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	191,070	44,929	236,000
II 連結売上高(百万円)	—	—	1,010,177
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.9	4.5	23.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

地域区分	主要な国又は地域
アジア・オセアニア	東アジア、東南アジア、オセアニア諸国
その他	アメリカ合衆国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは持株会社体制の下、「国内酒類」事業を営む麒麟麦酒㈱、「国内飲料」事業を営むキリンビバレッジ㈱、「海外酒類・飲料」事業を営むLION PTY LTD、「医薬・バイオケミカル」事業を営む協和発酵キリン㈱等の各事業会社が、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、事業会社の単位を重視し、経済的特徴の類似性等を考慮した上で各事業会社を結合し、「国内酒類」「国内飲料」「海外酒類・飲料」「医薬・バイオケミカル」の4つを報告セグメントとしております。

「国内酒類」はビール、発泡酒、新ジャンル、洋酒他酒類製品の製造・販売を行っており、エンジニアリング、物流等の事業を含んでおります。

「国内飲料」は清涼飲料の製造・販売を行っております。

「海外酒類・飲料」は海外におけるビール、洋酒、清涼飲料、乳製品等の製造・販売を行っております。

「医薬・バイオケミカル」は医薬品、バイオケミカル製品等の製造・販売を行っております。

なお、「国内酒類」「国内飲料」は一部在外会社を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	392,308	145,747	232,513	181,187	49,688	—	1,001,445
セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,013	1,808	421	5,180	14,752	△39,175	—
計	409,322	147,555	232,934	186,367	64,440	△39,175	1,001,445
セグメント 利益又は損失(△)	28,897	△1,081	11,451	31,328	3,188	△973	72,812

(注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△973百万円には、セグメント間取引消去9,060百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△10,033百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2011年第2四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー
6. その他情報

キリンホールディングス株式会社
2011年8月5日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	10,014	10,101	△87	△0.9%
売上総利益	4,093	4,021	72	1.8%
販売費及び一般管理費	3,365	3,423	△57	△1.7%
営業利益	728	598	129	21.7%
営業外収益	124	135	△10	△7.9%
営業外費用	127	170	△43	△25.5%
経常利益	725	562	162	28.9%
特別利益	258	115	142	123.7%
特別損失	381	410	△28	△7.0%
税金等調整前四半期純利益	601	267	333	124.7%
法人税等	327	163	164	100.7%
少数株主利益	94	32	61	187.3%
四半期純利益	179	71	107	150.7%
EBITDA ※	1,340	1,044	295	28.3%

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

		2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	酒税抜き	8,571億円	8,562億円	9億円	0.1%
営業利益	のれん等償却前	957億円	796億円	160億円	20.1%
営業利益率	対酒税抜き・のれん等償却前	11.2%	9.3%		
	対酒税抜き・のれん等償却後	8.5%	7.0%		
海外比率	酒税抜き売上高	32%	24%		
D/Eレシオ		0.74	0.89		

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)
ライオン 酒類 (豪ドル)	82.31	81.69
ライオン 飲料 (豪ドル)		81.58
サンミゲルビール (フィリピンペソ)	1.90	1.96
フレイザー・アンド・ニーヴ (シンガポールドル)	64.57	—

	2011年第2四半期 (実績)	2010年第2四半期 (実績)
ライオン 酒類	2010年10月～2011年3月	2009年10月～2010年3月
ライオン 飲料		2010年1月～2010年3月 ※1
サンミゲルビール		2009年10月～2010年3月
フレイザー・アンド・ニーヴ	2011年1月～2011年3月 ※2	—

※1 決算期変更により2010年第1四半期は取り込まれていない

※2 2011年第2四半期より取り込み

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	10,014	10,101	△87	△0.9%
国内酒類	3,923	4,191	△268	△6.4%
麒麟ビール (単社)	3,470	3,725	△254	△6.8%
メルシャン	357	352	5	1.6%
その他・内部取引消去	95	114	△19	△16.9%
国内飲料	1,457	1,665	△207	△12.5%
麒麟ビバレッジ	1,475	1,652	△177	△10.7%
その他・内部取引消去	△18	12	△30	—
海外酒類・飲料	2,325	1,822	502	27.6%
ライオン	2,159	1,659	500	30.1%
酒類	969	1,026	△57	△5.6%
飲料	1,189	632	557	88.1%
その他・内部取引消去	166	163	2	1.4%
医薬・バイオケミカル	1,811	2,011	△199	△9.9%
協和発酵麒麟	1,863	2,034	△170	△8.4%
医薬	1,124	1,033	90	8.8%
バイオケミカル	380	397	△16	△4.2%
化学品 他	358	603	△244	△40.6%
その他・内部取引消去	△51	△23	△28	—
その他	496	410	86	21.0%

<参考> 酒税抜売上高

(単位：億円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)
麒麟ビール (単社)	2,060	2,215

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	728	598	129
国内酒類	288	223	65
キリンビール(単社) マネジメントフィ等	324 △55	283 △59	40 4
計	268	224	44
メルシャン マネジメントフィ等	10 △2	△13 —	24 △2
計	7	△13	21
その他	12	13	△1
国内飲料	△10	△21	10
キリンビバレッジ マネジメントフィ等 のれん償却額	18 △17 △9	8 △17 △9	10 △0 △0
計	△8	△19	10
その他	△1	△2	0
海外酒類・飲料	114	147	△32
ライオン(連結組替後) 酒類 のれん償却額 ブランド償却費	106 253 △94 △32	138 277 △94 △31	△32 △24 △0 △0
計	126	151	△24
飲料 のれん償却額 ブランド償却費	51 △32 △14	34 △18 △9	16 △14 △4
計	4	6	△2
本社費用	△25	△19	△5
その他	8	8	△0
医薬・バイオケミカル	313	235	77
協和発酵キリン(連結組替後) 医薬 バイオケミカル 化学品 他 のれん償却額消去 のれん償却額	313 251 25 21 46 △31	235 183 18 18 46 △31	77 68 6 3 △0 △0
その他	31	40	△8
全社費用・セグメント間取引消去	△9	△26	17

マネジメントフィ等：キリンホールディングスへのグループ経営の対価・KIRINブランドの使用対価

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール (単社)	酒類限界利益減	△92	ビール販売数量減 △20千kl △24億 発泡酒販売数量減 △29千kl △30億 新ジャンル販売数量減 △2千kl △2億 RTD販売数量減 △13千kl △14億 焼酎・洋酒限界利益減 △2億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	7	麦芽価格安 8億、包装資材価格安 3億、 砂糖・液糖価格高 △2億 他
	販売費減	82	販売促進費・広告費減 82億 (ビール・発泡酒・新ジャンル 64億、RTD 12億 他)
	その他費用減	47	人件費減 5億、減価償却費減 10億、広報費減 4億、 マネジメントフィ等減 4億、 東日本大震災関連損失振替額 15億 他
計		44	
キリンビバレッジ ※	数量差異	△21	国内販売数量減 △192万ケース
	コストアップ	△7	原材料コストアップ △18億、原材料コストダウン 11億 他
	容器構成差異等	△13	
	販売費減	31	販売促進費・広告費減 27億、運搬費減 3億
その他費用減	20	減価償却費減 6億、雑費減 2億、修繕費減 1億、 販売機器費減 1億 他	
計		10	

※ 小岩井乳業は2011年よりその他セグメント

主な営業費用

(単位：億円)

		2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)
販売促進費		657	745
広告費		292	347
キリンビール (単社)	販売促進費	181	188
	広告費	123	197
キリンビバレッジ	販売促進費	413	453
	広告費	34	45
研究開発費		271	266
協和発酵キリン (内部取引除く)		219	211

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△2	△35	32	
金融収支	△58	△81	22	
持分法による投資損益	57	75	△18	
サンミゲルビール	△4	43	△48	現地持分損益 △47億 他
フレイザー・アンド・ニーヴ	10	—	10	現地持分損益 14億、 投資差額償却額 △3億 他
その他	51	32	19	キリンアムジェン 23億 他
為替差損益	△0	△42	41	
その他	△0	12	△13	
経常利益	725	562	162	
特別損益	△123	△295	171	
特別利益	258	115	142	
固定資産売却益	136	26	110	
投資有価証券売却益	16	68	△51	
関係会社株式売却益	66	1	64	
その他	39	20	19	
特別損失	△381	△410	28	
固定資産除却損	△9	△27	18	
固定資産売却損	△5	△2	△2	
減損損失	△16	—	△16	
投資有価証券評価損	△35	△27	△7	
投資有価証券売却損	—	△1	1	
関係会社株式売却損	△19	△38	18	
事業整理損失引当金繰入額	△20	△27	7	
在外会社清算損失引当金繰入額	—	△75	75	
退職給付制度改定損	—	△69	69	
過年度損益修正損	—	△53	53	
東日本大震災関連損失	△169	—	△169	
その他	△105	△86	△18	
法人税等	△327	△163	△164	
少数株主利益	△94	△32	△61	
四半期純利益	179	71	107	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2011年 第2四半期末	2010年 期末	増減額	増減内容
流動資産	6,518	7,270	△752	
現金及び預金	631	514	116	
受取手形及び売掛金	3,225	4,152	△926	・前年度末が休日による減少 他
棚卸資産	1,950	1,878	71	
その他	711	725	△13	
固定資産	19,300	19,221	79	
有形固定資産	7,051	7,392	△340	・化学品事業の売却による減少 他
無形固定資産	7,182	6,583	598	
のれん	5,998	5,624	373	・新規連結子会社による増加 他
その他	1,184	958	225	・新規連結子会社による増加 他
投資その他の資産	5,066	5,245	△179	・化学品事業の売却による減少 他
資産合計	25,819	26,491	△672	
流動負債	5,523	6,796	△1,273	
支払手形及び買掛金	1,362	1,690	△328	・化学品事業の売却による減少 他
有利子負債	1,332	1,961	△628	・キリンホールディングスの借入返済による減少 他
その他	2,828	3,145	△316	・前年度末が休日による未払酒税の減少 他
固定負債	8,249	8,104	144	
有利子負債	6,028	5,827	200	・キリンホールディングスの借入による増加 他
その他	2,220	2,276	△56	
負債合計	13,772	14,901	△1,128	
株主資本	10,077	10,019	57	
評価・換算差額等	△89	△395	306	・豪ドルに対する円安による為替換算調整勘定の増加 他
新株予約権	2	2	△0	
少数株主持分	2,056	1,963	92	
純資産合計	12,046	11,590	455	
負債純資産合計	25,819	26,491	△672	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(1) キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	924	848	75
税金等調整前四半期純利益	601	267	333
減価償却費	496	499	△2
のれん償却額	182	166	16
その他	△356	△85	△271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117	△398	281
設備投資	△421	△564	142
その他	303	165	138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△710	△325	△384
有利子負債の増減額	△552	△174	△378
配当金の支払額	△151	△132	△19
その他	△6	△18	12
換算差額等	10	△108	118
現金及び現金同等物の増減額	107	16	90

(2) セグメント別情報

2011年第2四半期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	154	58	131	104	41	6	496
のれん償却額	1	13	129	34	3	—	182
設備投資	179	41	91	86	20	1	421
EBITDA ※	281	48	357	475	83	93	1,340

2010年第2四半期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	171	67	104	105	41	8	499
のれん償却額	1	13	114	34	3	—	166
設備投資	162	44	78	210	17	51	564
EBITDA ※	290	49	383	346	79	△104	1,044

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

6. その他情報

(1) 主要な上場連結会社損益 (連結組替後)

2011年第2四半期実績

<連結子会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	1,863	298	305	177	89
のれん償却額消去		46	46	46	23
のれん償却額		△31	△31	△31	△31
連結取込計	1,863	313	320	192	81

<持分法適用関連会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	689	192	159	69	33
現地持分損益			33	33	33
ブランド償却費			△8	△8	△8
投資差額償却額			△29	△29	△29
連結取込計			△4	△4	△4

(2) ライオン 現地通貨ベース売上高・営業利益 (連結組替後)

(単位:百万豪ドル)

	2011年 第2四半期 (実績)	2010年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	2,623	2,031	591	29.1%
酒類	1,178	1,256	△78	△6.3%
飲料	1,444	774	669	86.5%
営業利益(のれん・ブランド償却前)	339	358	△18	△5.3%
酒類	308	340	△31	△9.4%
飲料	62	42	19	46.5%
本社費用	△31	△24	△6	—

(3) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2011年 第2四半期		2010年 第2四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	310	△6.1	330	△7.7
発泡酒	281	△9.5	310	△10.7
新ジャンル	322	△0.5	324	4.0
計	914	△5.3	966	△5.1
RTD	82	△13.2	95	4.2
清涼発泡飲料	24	△28.7	33	126.7
売上高	億円	%	億円	%
ビール	1,281	△6.0	1,363	△7.4
発泡酒	857	△9.5	948	△10.7
新ジャンル	847	△0.5	851	3.9
計	2,986	△5.6	3,163	△5.7
RTD	228	△12.6	261	6.2
焼酎・洋酒・その他 ※	256	△15.0	301	13.2
売上高計	3,470	△6.8	3,725	△3.6

上記売上数量、売上高には輸出分を含む

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ
 <カテゴリー別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 第2四半期				2010年 第2四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	921	11	△129	88	1,050	12	△152	87
		烏龍茶	128	2	△11	92	139	2	△16	90
		紅茶	2,248	27	243	112	2,005	24	233	113
		計	3,297	40	103	103	3,194	38	65	102
	コーヒー飲料	1,579	19	△67	96	1,646	20	△115	93	
	果実・野菜飲料	787	9	△151	84	938	11	△160	85	
	炭酸飲料	296	4	△127	70	423	5	68	119	
	水	1,493	18	197	115	1,296	15	△330	80	
	その他	450	5	△147	75	597	7	△138	81	
	国内市場清涼飲料計		7,902	95	△192	98	8,094	96	△610	93
海外市場清涼飲料計			402	5	63	119	339	4	△33	91
清涼飲料計			8,304	100	△129	98	8,433	100	△643	93

<容器別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 第2四半期				2010年 第2四半期				
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比	
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	
缶容器	缶	ボトル缶を含む	2,102	25	△92	96	2,194	26	△92	96	
		PET容器	大型PET	2L	1,488	18	179	114	1,309	16	△304
		1.5L、1L、900ml、750ml	658	8	△15	98	673	8	△71	90	
		大型PET計	2,146	26	164	108	1,982	24	△375	84	
		小型PET	500ml	2,086	25	△188	92	2,274	27	△110	95
		350ml以下	731	9	88	114	643	8	37	106	
		小型PET計	2,817	34	△100	97	2,917	35	△73	98	
		PET計	4,963	60	64	101	4,899	59	△448	92	
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、紙、ギフト 他		837	10	△164	84	1,001	11	△70	93	
海外市場清涼飲料計			402	5	63	119	339	4	△33	91	
清涼飲料計			8,304	100	△129	98	8,433	100	△643	93	

③ 協和発酵キリン

売上高		2011年 第2四半期		2010年 第2四半期	
		実績	前年比	実績	前年比
領域	主要製品名	億円	%	億円	%
腎	ネスプ	254	144	177	112
	エスポー	27	48	57	91
	(ネスプ/エスポー)	(282)	(120)	(234)	(106)
	レグパラ	53	124	43	147
免疫・アレルギー	アレロック	181	130	139	92
	パタノール	86	183	47	89
がん	グラン/ノイアップ ※	67	93	73	96
循環器系	コニール	96	93	103	94

※ ノイアップについては、2010年3月1日付で製造販売に係る権利等をヤクルト本社に承継

2011年通期業績予想 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー
5. その他情報

麒麟ホールディングス株式会社
2011年8月5日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減	
売上高	21,100	21,778	△678	△3.1%
営業利益	1,440	1,516	△76	△5.0%
営業外損益	△60	△106	46	—
経常利益	1,380	1,409	△29	△2.1%
特別損益	△80	△606	526	—
税金等調整前当期純利益	1,300	803	496	61.8%
法人税等	618	578	40	7.0%
少数株主利益	161	111	50	45.1%
当期純利益	520	113	406	356.4%
EBITDA ※	2,940	2,693	246	9.1%

※ EBITDA = 営業利益+持分法による投資損益+減価償却費+のれん償却額+特別損益
(2010年通期実績については、ライオン(飲料)ののれん等に係る減損損失及びメルシャン完全子会社化に伴う負ののれん発生益他を除く)

		2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減	
売上高	酒税抜き	17,820億円	18,352億円	△532億円	△2.9%
営業利益	のれん等償却前	1,913億円	1,936億円	△22億円	△1.1%
営業利益率	対酒税抜き・のれん等償却前	10.7%	10.5%		
	対酒税抜き・のれん等償却後	8.1%	8.3%		
ROE	のれん等償却前 ※	10.4%	8.8%		
	のれん等償却後	5.3%	1.2%		
EPS	のれん等償却前 ※	112円	94円		
	のれん等償却後	54円	12円		
海外比率	酒税抜き売上高	30%	25%		
D/Eレシオ		0.94	0.81		
総資産回転率	酒税抜き売上高	0.64	0.67		

※ 持分法適用関連会社に関するのれん等を含む

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)
ライオン 酒類 (豪ドル)	85.00	80.42
ライオン 飲料 (豪ドル)		79.95
サンミゲルビール (フィリピンペソ)	1.90	1.96
フレイザー・アンド・ニーヴ (シンガポールドル)	66.00	—

	2011年通期 (予想)	2010年通期 (実績)
ライオン 酒類	2010年10月～2011年9月	2009年10月～2010年9月
ライオン 飲料		2010年1月～2010年9月 ※1
サンミゲルビール		2009年10月～2010年9月
フレイザー・アンド・ニーヴ	2011年1月～2011年9月 ※2	—

※1 決算期変更により2010年第1四半期は取り込まれていない

※2 2011年第2四半期より取り込み

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	21,100	21,778	△678	△3.1%
国内酒類	8,780	9,284	△504	△5.4%
キリンビール (単社)	7,821	8,260	△438	△5.3%
メルシャン	730	777	△47	△6.1%
その他・内部取引消去	228	246	△18	△7.4%
国内飲料	3,270	3,477	△207	△6.0%
キリンビバレッジ	3,295	3,500	△205	△5.9%
その他・内部取引消去	△25	△22	△2	—
海外酒類・飲料	4,680	4,039	640	15.8%
ライオン	4,327	3,716	610	16.4%
酒類	1,963	1,858	105	5.7%
飲料	2,363	1,858	505	27.2%
その他・内部取引消去	352	323	29	9.2%
医薬・バイオケミカル	3,330	4,056	△726	△17.9%
協和発酵キリン	3,420	4,137	△717	△17.3%
医薬	2,248	2,101	146	7.0%
バイオケミカル	767	755	11	1.5%
化学品 他	405	1,280	△875	△68.4%
その他・内部取引消去	△90	△81	△8	—
その他	1,040	919	120	13.1%

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)
キリンビール (単社)	4,598	4,901

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減
営業利益	1,440	1,516	△76
国内酒類	700	732	△32
キリンビール(単社)	784	831	△46
マネジメントフィ等	△124	△131	6
計	660	699	△39
メルシャン	15	2	13
マネジメントフィ等	△5	—	△5
計	10	2	8
その他	29	30	△1
国内飲料	40	24	15
キリンビバレッジ	100	84	15
マネジメントフィ等	△40	△38	△1
のれん償却額	△19	△19	—
計	40	26	13
その他	△0	△2	1
海外酒類・飲料	170	229	△59
ライオン(連結組替後)	143	204	△60
酒類	495	505	△9
のれん償却額	△194	△186	△7
ブランド償却費	△66	△62	△3
計	234	255	△21
飲料	77	78	△1
のれん償却額	△66	△53	△13
ブランド償却費	△28	△28	△0
計	△18	△3	△14
本社費用	△72	△48	△24
その他	26	24	1
医薬・バイオケミカル	465	487	△22
協和発酵キリン(連結組替後)	465	487	△22
医薬	375	361	13
バイオケミカル	35	32	2
化学品 他	25	62	△37
のれん償却額消去	92	93	△0
のれん償却額	△62	△63	0
その他	80	81	△1
全社費用・セグメント間取引消去	△15	△38	23

マネジメントフィ等：キリンホールディングスへのグループ経営の対価・KIRINブランドの使用対価

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール (単社)	酒類限界利益減	△160	ビール販売数量減 △29千kl △38億 発泡酒販売数量減 △64千kl △67億 新ジャンル販売数量減 △5千kl △6億 RTD販売数量減 △8千kl △9億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	5	麦芽価格安、包装資材価格安、砂糖・液糖価格高 他
	販売費減	52	販売促進費・広告費減 52億 他
	その他費用減	64	人件費減 11億、減価償却費減 15億、 広報費減 5億、マネジメントフィ等減 7億、 情報システム費増 △8億、 東日本大震災関連損失振替額 27億 他
計		△39	
キリンビバレッジ ※	数量差異	11	国内販売数量増 99万ケース
	コストアップ	△18	原材料コストアップ △37億、原材料コストダウン 19億
	容器構成差異等	△11	
	販売費減	9	販売促進費・広告費減 7億、運搬費減 2億
その他費用減	22	減価償却費減 10億、販売機器費減 4億、 情報システム費減 1億 他	
計		13	

※ 小岩井乳業は2011年よりその他セグメント

主な営業費用

(単位：億円)

		2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)
販売促進費			1,570
広告費		2,200	643
キリンビール (単社)	販売促進費	748	454
	広告費		345
キリンビバレッジ	販売促進費	1,003	974
	広告費		86
研究開発費		600	556
協和発酵キリン (内部取引除く)		482	438

(2) 経常利益、当期純利益

(単位：億円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△60	△106	46	現地持分損益 △49億 他 現地持分損益 54億、 投資差額償却額 △11億 他
金融収支	△130	△172	41	
持分法による投資損益	100	94	5	
サンミゲルビール	※ 7	56	△49	
フレイザー・アンド・ニーヴ	※ 42	—	42	
その他	51	38	13	
為替差損益	△11	△49	38	
その他	△19	19	△38	
経常利益	1,380	1,409	△29	
特別損益	△80	△606	526	
法人税等	△618	△578	△40	
少数株主利益	△161	△111	△50	
当期純利益	520	113	406	

※ 業績予想非公表のため、公表済の実績を基礎とした数値

4. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(1) キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,990	2,180	△190
税金等調整前当期純利益	1,300	803	496
減価償却費	1,100	1,052	47
のれん償却額	378	347	31
その他	△788	△22	△766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,620	△1,409	△1,210
設備投資	△850	△1,066	216
その他	△1,770	△342	△1,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	630	△1,401	2,031
有利子負債の増減額	940	△1,185	2,125
配当金の支払額	△310	△280	△29
その他	-	64	△64
換算差額等	-	△104	104
現金及び現金同等物の増減額	-	△735	735

(2) セグメント別情報

2011年通期予想

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	360	127	275	230	91	14	1,100
のれん償却額	2	26	266	76	7	-	378
設備投資	315	79	154	210	69	20	850
EBITDA ※	954	168	671	782	245	117	2,940

2010年通期実績

(単位：億円)

	国内酒類	国内飲料	海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	350	142	237	221	84	15	1,052
のれん償却額	2	27	242	69	5	-	347
設備投資	310	94	215	332	29	84	1,066
EBITDA ※	973	181	665	741	155	△23	2,693

※ EBITDA = 営業利益+持分法による投資損益+減価償却費+のれん償却額+特別損益

(2010年通期実績については、ライオン(飲料)ののれん等に係る減損損失及びメルシャン完全子会社化に伴う負ののれん発生益他を除く)

5. その他情報

(1) 主要な上場連結会社損益 (連結組替後)

2011年通期予想

<連結子会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	3,420	435	445	255	129
のれん償却額消去		92	92	92	46
のれん償却額		△62	△62	△62	△62
連結取込計	3,420	465	474	284	113

<持分法適用関連会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結純利益
サンミゲルビール ※	1,312	360	309	171	83
現地持分損益			83	83	83
ブランド償却費			△16	△16	△16
投資差額償却額			△59	△59	△59
連結取込計			7	7	7

※ 業績予想非公表のため、2010年4月から2011年3月の実績を基礎とした数値

(2) ライオン 現地通貨ベース売上高・営業利益 (連結組替後)

(単位:百万豪ドル)

	2011年 通期 (予想)	2010年 通期 (実績)	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	5,090	4,635	455	9.8%
酒類	2,309	2,310	△0	△0.0%
飲料	2,781	2,324	456	19.6%
営業利益(のれん・ブランド償却前)	588	666	△77	△11.7%
酒類	582	628	△45	△7.2%
飲料	91	98	△7	△7.3%
本社費用	△85	△59	△25	—

(3) 主要のれん等償却情報

2011年通期予想

(単位：億円)

	取得年	のれん等償却額合計 ①+② ※1							
		のれん			ブランド				
		償却額①	未償却残高	残年数	償却額② ※2	未償却残高	残年数		
連結子会社	ライオンネイサン	1998	25	168	7	61	72	11	87
	ライオンネイサン (営業権)	1998	10	10	1	—	—	—	10
	ライオンネイサン (完全子会社化)	2009	143	2,582	18	—	—	—	143
	ジェイ・ボーグ・アンド・サン	2008	14	89	7	5	32	7	19
	ナショナルフーズ	2007	66	1,088	17	28	402	17	95
	キリンビバレッジ	2006	19	289	15	—	—	—	19
	協和発酵キリン	2007	62	1,009	17	—	—	—	62
	その他		35	—	—	—	—	—	35
連結子会社計			378			95			473
持分法	サンミゲルビール	2009	59	1,047	18	16	284	18	76
	フレイザー・アンド・ニーヴ	2011	11	283	20	—	—	—	11
	持分法適用関連会社計			70			16		
合計			449			111			561

※1 指標等における「のれん等償却」

※2 科目：減価償却費

(4) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2011年 通期		2010年 通期	
	予想	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	722	△3.9	751	△6.0
発泡酒	597	△9.7	661	△9.0
新ジャンル	735	△0.7	740	3.7
計	2,054	△4.6	2,153	△3.9
RTD	192	△4.0	200	0.7
清涼発泡飲料	58	△25.1	77	50.6
売上高	億円	%	億円	%
ビール	2,984	△4.0	3,108	△5.8
発泡酒	1,820	△9.7	2,016	△9.0
新ジャンル	1,930	△0.7	1,943	3.7
計	6,735	△4.7	7,068	△4.4
RTD	532	△3.5	551	1.8
焼酎・洋酒・その他 ※	553	△13.5	639	5.7
売上高計	7,821	△5.3	8,260	△3.3

上記売上数量、売上高には輸出分を含む

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ
 <カテゴリー別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 通期				2010年 通期			
			予想	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	2,150	12	△67	97	2,217	12	△258	90
		烏龍茶	320	2	20	107	300	2	△42	88
		紅茶	4,680	26	241	105	4,439	24	641	117
		計	7,150	40	194	103	6,956	38	341	105
	コーヒー飲料	3,670	20	334	110	3,336	18	△356	90	
	果実・野菜飲料	1,620	8	△522	76	2,142	12	△170	93	
	炭酸飲料	690	4	△292	70	982	5	161	120	
	水	3,460	19	613	122	2,847	16	△517	85	
	その他	1,070	6	△228	82	1,298	7	△204	86	
	国内市場清涼飲料計		17,660	97	99	101	17,561	96	△745	96
海外市場清涼飲料計			540	3	△155	78	695	4	△11	98
清涼飲料計			18,200	100	△56	100	18,256	100	△756	96

<容器別販売実績(連結)>

清涼飲料			2011年 通期				2010年 通期			
			予想	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	4,300	24	△222	95	4,522	25	△265	94
PET容器	大型PET	2L	3,300	18	361	112	2,939	16	△429	87
		1.5L、1L、 900ml、750ml	1,600	9	123	108	1,477	8	△76	95
		大型PET計	4,900	27	484	111	4,416	24	△505	90
	小型PET	500ml	5,000	27	△8	100	5,008	27	22	100
		350ml以下	1,500	8	97	107	1,403	8	124	110
		小型PET計	6,500	35	89	101	6,411	35	146	102
PET計		11,400	62	573	105	10,827	59	△359	97	
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、 紙、ギフト 他		1,960	11	△252	89	2,212	12	△121	95
海外市場清涼飲料計			540	3	△155	78	695	4	△11	98
清涼飲料計			18,200	100	△56	100	18,256	100	△756	96

③ 協和発酵キリン

売上高		2011年 通期		2010年 通期	
		予想	前年比	実績	前年比
領域	主要製品名	億円	%	億円	%
腎	ネスプ	508	122	417	118
	エスポー	53	49	108	80
	(ネスプ/エスポー)	(561)	(107)	(526)	(107)
	レグパラ	111	117	95	140
免疫・アレルギー	アレロック	290	108	268	100
	パタノール	116	154	75	101
がん	グラン/ノイアップ ※	145	101	144	85
循環器系	コニール	197	94	210	90

※ ノイアップについては、2010年3月1日付で製造販売に係る権利等をヤクルト本社に承継